

地域住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域づくりを目指します

# 生活困窮者 自立支援 シンポジウム

## 地域共生社会で行こう！



# 2月18日 日

## 13:00~17:10 (受付 12:30)



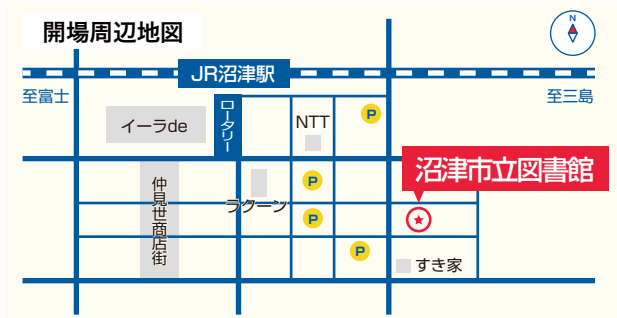
**開場** 沼津市立図書館 4階 視聴覚ホール

**住所** 静岡県沼津市三枚橋町 9-1 JR沼津駅南口徒歩10分

**対象** どなたでも **定員** 200名 **参加費** 無料

**駐車場** 市立図書館駐車場(30分100円)、周辺有料駐車場をご利用ください

予約制 となりますので、裏面にご記入の上お申込みください



### 当日の内容

#### 13:10 基調講演 1

生活困窮者自立支援制度の現状と課題 **これから目指すもの**

**講師** 厚生労働省生活困窮者自立支援室  
自立支援企画調査官： 楠木 奈津子氏

#### 14:00 基調講演 2

ひきこもりを地域の力に  
我が事・丸ごと藤里町のまちづくり

**講師** 秋田県藤里町社会福祉協議会  
会長： 菊池 まゆみ氏



菊池 まゆみ氏

#### 14:50 パネルディスカッション

地域そのものを変えていく私たちが共にできること

**コーディネーター**

■NPO 法人 青少年就労支援ネットワーク静岡  
理事長： 津富 宏氏

**パネラー**

■行政・NPO・市民の皆さん

**コメンテーター**

■楠木 奈津子氏 ■菊池 まゆみ氏



津富 宏氏

#### 18:00 懇親会

JR 沼津駅周辺を予定。事前にお申し込みください。

#### お問い合わせ

NPO 法人 青少年就労支援ネットワーク静岡 東部事務局  
電話 . 0120-29-7433 / メール . ysc.toubu@gmail.com

主催

ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム  
( 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会、12 町社会福祉協議会 )  
NPO 法人 青少年就労支援ネットワーク静岡



NPO 法人  
青少年就労支援ネットワーク静岡

## 開催概要

### 地域で支えあう互助の関係づくり、 就労の場づくり、地域との関係づくり

平成 27 年 4 月に施工された生活困窮者自立支援制度により、支援のネットワークも広がり、様々な支援が行われているが、一方で制度だけでは対応しきれず、制度の在り方についての見直しやさらなる支援の提起が求められています。

生活困窮者への支援を充実させ、生活困窮者支援を地域づくりの柱にしていくためには、まちづくりの視点からも生活困窮者支援にとりくみ、地域で支えあう互助の関係づくり、就労の場づくりなど、地域との関係づくりを目指していくことが必要です。

### 今後求められる支援 市民、NPO、行政、企業の連携

本シンポジウムでは、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域づくりを行うことができるように、市民、NPO、行政、企業などがどのような役割を果たし、どのように連携すべきか、今後求められる支援とは何かなどについて、活動している方々から地域活動・連携・協働の様子をお聞きし、講演会及びパネルディスカッションを通じて考え、県東部における生活困窮支援を地域づくりに展開し広げ加速させることを目的とします。

## 講師紹介

### 厚生労働省生活困窮者自立支援室 自立支援企画調査官： 楠木 奈津子氏

日本学術振興会特別研究員、上智大学社会福祉学科助教を経て、平成 26 年 4 月より厚生労働省地域福祉課生活困窮者自立支援室自立支援企画調整官として勤務。現在に至る。

### 秋田県藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ氏

1990 年藤里町社会福祉協議会入社。2002 年同事務局長。2015 年同会長兼 上席事務局長。主著：藤里町の取り組みをまとめた『ひきこもり町おこしに発つ』（2012）、『「藤里方式」が止まらない』（2015）。2013 年日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞。2014 年エイボン女性年度賞。

## NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡

### 静岡県内の働きたいけれども働けない人びとに対して、 市民のネットワークによる伴走型の就労支援を提供

2002 年 11 月「青少年就労支援ネットワーク静岡」は任意団体として設立され、2004 年に NPO 法人の認証を受けました。当初より当団体は静岡県内の働きたいけれども働けない人びとに、「仕事に就くことを支援するのではなく、働き続けることができる人生に寄り添う」ことを目的に活動しています。

具体的には、一般市民が地域のボランティアとして地域の若者の一人一人に寄り添い、働き続けることを支える「静岡方式」と呼ばれる就労支援のしくみを徹底して実践してきました。2017 年 9 月時点で約 800 名がボランティアに登録しています。

支援してきた若者の 7 割から 8 割は無業から脱し、働くことの喜びを手にしつつあります。その後当団体は、パーソナルサポート事業、地域若者サポートステーション事業、絆再生事業、生活困窮者自立支援事業などを受託し、年間 1000 人を超える人々を支援するようになりました。しかしあくまで当団体は、働きたくても働けない人々とともに歩む、ボランティア団体であり続けます。

## 書籍のご案内



### 生活困窮者自立支援も「静岡方式」で行こう !! 2 相互扶助の社会をつくる

若者の就労支援から始まった団体の市民活動ですが、現在は若者にとどまらず、生活困窮者自立支援法の施行により、更に多世代の方と出会わせて頂いています。就労支援を軸に自助グループも誕生しています。

「困りごと」が作り出す町おこしをテーマに誰もが抱える脆弱化する社会を生き抜くための地域の編み直し、結び直しを静岡県東部地域の活動からお伝えします。

## お申し込み 必要事項をご記入の上 FAX もしくはメールにてご連絡下さい

お名前		ご住所	
E-mail		お電話番号	
所属		参加	シンポジウム ・ 懇親会 (18 時～)

送付先



FAX

0544-29-7434



メール

ysc.toubu@gmail.com